

このひとをじっくり探してみますか？

第14回

に大きく貢献した理重は、昭和四十二（一九六七）年四月、その功績を称えられ、勲五等瑞宝章を受章した後、昭和五十九（一九八四）年八月十四日、九十七歳で亡くなりました。

理重 重 につか りじゅう

(明治20年6月9日～昭和59年8月14日)



▲肖像写真（個人蔵）

理重は、明治二十（一八八七）年八月九日、明戸村（現在の深谷市明戸）で、父直衛と富岡製糸場の建設に貢献した直次郎の娘である母えいの次男として生まれました。

東京蚕業講習所（現在の東京農工大学）で学んだ理重は、父が設立した大里製糸合名会社の経営を継ぎました。北海道野付牛（現在の北見市）の郊外に農場を開くなど、事業を拡大していききましたが、第一次世界大戦後の不況のあおりを受け、工場と農場を閉鎖することになりました。

理重は仕事の傍ら、若くから写真や音楽、水墨画、俳句などの世界に傾倒します。青年時代から撮影していた写真の中には、大里製糸合名会社と日本煉瓦製造株式会社を一枚に収めた写真などがあります。音楽では、自ら楽器を購入し、



▲大里製糸合名会社（手前）と日本煉瓦株式会社（奥）

『山水 96歳』（個人蔵）▶

村の愛好者と楽団を立ち上げ、村から出兵する人々をその演奏で送り出したと言われています。水墨画や俳句では、東明と号し、『星屑』句集などの著作を残しました。また、近隣の人々が煉瓦の材料の粘土を掘った時に見つけた出土品を、理重が持つてきたため、考古学に詳しくなるなど、その活躍は多岐に渡り、文化人としても地域に強い影響を与えました。

公職、文化を通じて郷土の発展

用語の手引き

理重 直次郎

富岡製糸場建設で資材調達のため役を務め、当時日本で普及していなかったレンガを深谷の瓦職人たちと試行錯誤の末に焼き上げるなど大きく貢献した。

瑞宝章

国や地方公共団体の公務や公共的な事業に長年にわたり従事し、成績を挙げた人へ授与される。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。

市長の深い話

深谷市長 小島 進



自治会訪問 ふれあい座談会

平成23年から25年までの3年にわたり、『自治会訪問2022ふれあい座談会』と題し、市内202自治会のうち、開催希望のありました186自治会で座談会を開催し、4000人を超える方々に参加いただきました。この時、皆さんからいただいた「意見の総数は、1070件を数え、豊富な地域の声」、「市民の生の声」を伺うことができました。「意見はそれぞれ、市政への反映に努めたほか、即時対応を図り、まちづくりに反映したものも多数ありました。前回の座談会から約3年が経過し、市を取り巻いている状況や抱える

課題にも変化が生じています。少子高齢化と人口減少が進行し、市の収入を確保する施策の実施が求められているほか、統廃合を含む公共施設の適正配置、インフラの維持管理など、多くの課題があります。

こうした課題を解決するため、市では市の収入を増やす取り組みである花園-C拠点整備プロジェクト、公共施設の適切な集約を進め、長期的に市の支出を減らす取り組みの新庁舎建設や公共施設適正配置などの主要施策を進めています。そのような市政の取り組みや課題について、市民の皆さんとより身近なところで話させていただく機会として、今年から来年にかけて『自治会訪問ふれあい座談会』を開催します。

開催日など詳しくは、お住まいの地区の自治会を通じてお知らせします。多くの市民の皆さんにお会いして、お話しをしたいと思います。お待ちしております。ぜひ積極的なご参加をお待ちしています。

『平成28年熊本地震』におきまして亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ありがとうの手紙



最優秀賞

小学校高学年の部
大好きなお父さんへ

岡部小学校4年（現5年） 福田煌星 さん

いつも家族のために仕事をしてくれてありがとう。休みの日でも警報が鳴ると、夜中でも仕事場に行かなくてはいけないし、帰ってきてまた朝早くから仕事に行っているの、ぼくは、仕事をせいいっぱいがんばってくれているお父さんに、「ありがとう。」の気持ちを伝えたいです。休みの日には、お父さんの車をいっしょに洗ったり、お父さんが喜ぶことをたくさんしてあげたりしたいです。いつもやさしいお父さんが大好きです。これからも仕事をがんばってね。

みんなの声BOX

Q 東日本大震災の発生から5年経ちましたが、深谷市では被災地に対して何か継続支援をしていますか。

A 市では、友好都市の岩手県田野畑村の復興を支援しています。

平成23年4月以降、延べ15人の市職員を田野畑村に派遣しています。今年度も田野畑村の復興支援のため、土木技師2人を派遣しています。

また、深谷市へのふるさと納税(50万円、100万円)のお礼品に、田野畑村特産品を加え、田野畑村特産品のPRと売上向上による産業振興を支援しています。

問い合わせ 人事課(☎574-6636)、企画課(☎574-8096)